

今月のスマイル



真新しい中学校の制服姿に身を包んだ卒業生たちが卒業証書を受け取りました



小学校へ行っても友だちたくさん作って頑張ります



別 市立4保育所で修了式 れと出会いの新しい季節

3月26日、市立保育所で修了式が行われ、園児たちが楽しい思い出いっぱいの保育所から巣立ちました。わかぐり保育所では、園児32人が修了式にのぞみ、先生から名前を呼ばれた園児らは、元気よく返事をして所長先生から修了証書を受け取った後、希望に満ちた顔で小学校での目標や夢を発表しました。



晴 市内13小学校で卒業式 れやかな門出

3月19日、市内13小学校で卒業式が行われ、計416人の児童が慣れ親しんだ学び舎から旅立ちました。志士庫小学校（押野豊光校長・児童数70人）では、卒業生13人一人ひとりに校長先生から卒業証書が手渡され、「夢や希望を持ち続けてください」「心の顔を磨いてください」「友達を大切にしてください」と門出を迎えた卒業生らに3つの言葉が贈られました。

春 親子ふれあいハイキング を感じながらハイキング

3月1日、「親子ふれあいハイキング」が行われ、親子30組96人が参加しました。ハイキングは、のどかな田園地帯を自分の足で歩き、農園で旬のイチゴ狩りを楽しみながら、親子のふれあいや友だちの輪を広げることの出来た一日となりました。参加者は「お父さん、お母さんと楽しく歩けました」と話してくれました。



「おいしい」「あま〜い」と参加した子どもたちは大喜び

》写真で振り返る合併10年



千代田庁舎開庁式での
テープカット

「かずみがうら市」誕生の日の平成17年3月28日、千代田庁舎、霞ヶ浦庁舎それぞれで催された開庁式。郡司豊廣市長職務執行者・鈴木三男前千代田町長・市議会議員（いずれも当時）などにより除幕式やテープカットが行われました。

▶創刊号より抜粋

》市民学芸員雑記帳

市民学芸員の会は、「市民学芸員養成講座」の受講者らが、郷土資料館を拠点に、市の歴史を学習し、魅力を引き出し、発展に寄与することを目的として2年前に発足しました。この2年間の活動には、稲吉宿周辺の案内看板の設置やパンフレットの作成、風返し古墳群の整備、雪入山系の古道の案内などがありました。市は、素晴らしい文化的資源が数多く残っています。平成26年度は、郷土資料館で講師として、今まで学んできたことや市の歴史・文化などを紹介する予定になっていますので、「マナビいかずみがうら」をご覧になり、受講していただけたら、うれしく思います。

〔深井征一郎〕

▼投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集しています。

5月7日（水）までに情報広報課（霞ヶ浦庁舎）へお願いします

せせらぎにそつと放せる笹舟にかなはぬ願ひかけし日ありき
掘り上げし蓮を満たした舟二艘引きて男の蓮掘り終る
朱鷺色に空・湖染めて初日の出新しき年の船出を告げる
我が経営の五ミリの管に入っている我が身を保護する胃腸の液なり
銚子往復の船旅が修学旅行なりし戦後の女学生の歓喜せし日よ
豪華船世界一周果たせずにあまたの命の眠る海底
新しく何か拓くべし七十六歳船出の朝

遠藤富重
大西周
中島良平
橋本とし
宮本和子
目黒しづ子
場合登志子

千代田短歌会

文芸ひろば

詠歌の紹介

京都奈良亡夫と旅して古の想ひも深く杳くとなりぬ
東北の少し遅れの桜咲けど心に花の咲かぬ被災地
淡き玻璃わが後背に軋みおり翳のふかき君をおもえば
旅の話忘れることなく今に語る九十四歳姉は輝く

小室貞江
名倉親子
岡田恭子
飯島ヒロエ

薫り立つ木々や芽吹き早かりし空藍くして辛夷咲く
菜の花を母ねむる丘幾彼岸
高倉にすそのを上げる筑波山春のにほいをうらうらにして
合格を喜ぶ孫の行く先に燦り見ゆる秘密保護法
草や木の魂返し季節過ぎて萌木の庭に孫の歓喜
はらはらしどきどき孫にあそばれる
津波余波雷雨風吹え花おどし

沽野はつ子
石塚清
吉田正道
菅谷味子
櫻井清風
やまぐちいさむ
渡辺静江

出島短歌会

投稿作品

一緒に過ごした楽しい時間
人生の中でも貴重な時間
記憶の中に刻まれている懐かしい時間

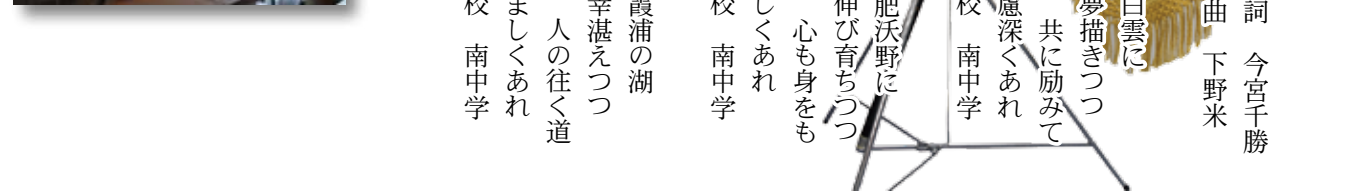
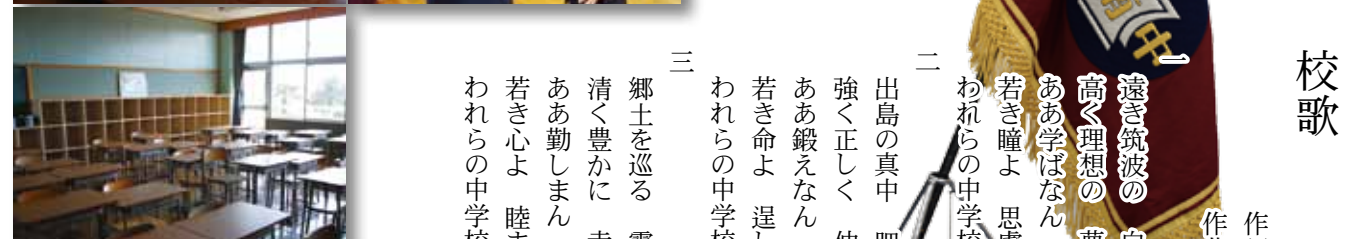


母校に感謝の別れ

～ありがとう 僕たち私たちの学び舎～

3月29日、4月に統合し霞ヶ浦中学校となった北中学校と南中学校でそれぞれ閉校式が行われました。北中学校は創設から55年で6,441人、南中学校は創設から54年で8,120人の卒業生を送り出しました。

各中学校で在校生や卒業生、地域の皆さんなど、計770人が集まり思い出が詰まった学び舎との別れを惜しましました。式典では、思い出を振り返るスライドショーの上映などが行われ、両校とも校長による校旗返納で、その歴史に幕を閉じました。



南中学校 ▶創立 昭和34年

北中学校 ▶創立 昭和33年



校歌

作詞 今宮千勝
作曲 下野米

一 紫匂う筑波嶺に
高き理想を仰ぎつつ
往くて遙かな自主の道
進まん共にたゆみなく
若き眸を見開きて

二 霞ヶ浦の浦風は
清く学びの窓に吹き
額に汗す勤労を
励まん共にたくましく
若き腕を鍛えつつ

三 大平原緑濃く
あまねく実る豊かさを
なごむ協和の象徴とし
学ばん共にむつまじく
若き心を磨きつつ

校歌

作詞 今宮千勝
作曲 下野米

一 遠き筑波の 白雲に
高く理想の 夢描きつつ
ああ学はなん 共に励みて
若き瞳よ 思慮深くあれ
われらの中学校 南中学

二 出島の真中 肥沃野に
強く正しく 伸び育ちつつ
ああ鍛えなん 心も身をも
若き命よ 逞しくあれ
われらの中学校 南中学

三 郷土を巡る 霞浦の湖
清く豊かに 幸湛えつつ
ああ勤しまん 人の往く道
若き心よ 睦ましくあれ
われらの中学校 南中学

